

大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2
電話・FAX 029-284-0761
E-mail toukai@oona-mieko.info



仙台にある北稜クリニックを舞台におきている「筋弛緩剤冤罪事件」をご存知でしょうか。

2001年1月、当クリニックの准看護師だった

守大助さん(29)は、A子さん(11)の急変に関し殺人未遂容疑で逮捕・起訴され、その後1人殺人、3人の殺人未遂容疑と、計5件で逮捕・起訴がくり返されました。この事件は、当初守さんが犯行を認めたということで、准看護師の立場を利用し、仕事の不満を解消するために、約20人の患者の点滴に筋弛緩剤を混入し、約10人を殺害したとされ、前代未聞の凶悪犯罪として、当時のメディアを騒がせました。しかし守さんは逮捕から3日後に否認に転じ、その後は一貫して無実の主張を貫いています。

北陵クリニックは、国と県から多額の補助金を受け、研究事業が成果を上げれば新産業が創出されるとして、地元の名士が理事に名を連ねました。しかし経営難で老人ホームなどから重症や高齢の患者を受け入れるようになり、薬剤師をリストラしたり、救急処置のできる医師が退職した結果、高齢患者の急変・死亡患者が増え、また他病院へ搬送される小児患者が増えました。

共謀罪の廃案を要求—共産党

昨日18日、金田勝年法務相の不信任決議案は、共産党などの賛成討論がありました。自民・公明・維新の反対多数で否決。与党側は、今日19日の衆院法務委員会で「共謀罪」法案の採決強行を狙っています。「法案を説明できない法相」「思想・良心の自由、表現の自由を侵す違憲立法」には、絶対反対です。

廃案にするまでがんばりましょう！

そんな中、病院のオーナーである半田教授からA子さんの急変について相談を受けた法医学教授が、宮城県警に足を運び、筋弛緩剤の可能性を示唆したのです。県警はA子さんや死亡した患者に筋弛緩剤が点滴投与されたものと思込み、点滴処置を行った守さんを犯人視しました。

詳細は書けませんが、自白の強要と、薬剤に関する科学を無視した検察と裁判所がつくりだした明白な冤罪事件です。

偶然ですが、「ジュピアランドひらた」に行ってきました



5月4日、癌を患っている親しい友人と、福島県三春町にある「やわらぎの湯」に行ってきました。

湯船につかる温泉も岩盤浴も、汗だくで疲れたような感じと同時に快適な気分になりました。休憩所でおしゃべりをしていたら「芝桜が好き」という友人の話から、夕方になってしまいましたが、ナビをセットして「ジュピアランドひらた」へ行くことに

し、芝桜を見てきました。福島県石川郡平田村は、人口6,286人の小さな村ですが、駐車場や会場内の案内やごみの始末など村民？かなと思われる方々が一生懸命、芝桜まつりを支えておられました。

15万株と言われる芝桜は素晴らしく、例年何人ぐらいの観光客が訪れるのか知ることはできませんでしたが、同時に常設と思われる創作山子や実在の方を真似た等身大の人形などが多数並んでいたことにも驚きました。「村長の作品コーナー」があり、**澤村和明村長が「私の提案で始まった」と自ら説明をされていました。**村長の作品は本当に見事なものばかりでした。偶然の村長さんとの出会いでしたが、記念にと写真を1枚お願いしたら、気さくに素早い対応で「カチャ」。そうこうしていると、北海道からの訪問客が村長に挨拶。他季に開催される「あじさい・ゆり園無料解放」とともに大忙しのご様子でした。

